



Bringing up a child

子育て

行方市子育て支援センター

☎ 0299-55-0130(直通)

子育て相談は随時受け付けています

子育て広場 5月の行事予定

☆☆親子教室参加者募集のお知らせ☆☆

のびのび親子教室

1, 2歳児の親子を対象に通年制で実施します。

どろんどろん親子教室

3, 4歳児の親子を対象に通年制で実施します。

- ・申込期間 5月9日(月)～5月20日(金)
- ・経費 親子で1,000円
(子どもが1名増えると1,500円です。)
- ・申込先 行方市役所社会福祉課(玉造庁舎)
子育て支援センター

・教室の内容等詳細につきましては、申込者に年間計画書やチラシを送付いたします。



5月		麻生		北浦		玉造	
		午前 9:30～ 11:30*	午後 1:30～ 3:30*	午前 9:30～ 11:30*	午後 1:30～ 3:30*	午前 9:30～ 11:30*	午後 1:30～ 3:30*
2	月					○	
6	金			○		○	
9	月					○	
10	火	○		○			○
11	水			○		○	
12	木	○					
13	金			○			
16	月					○	
17	火	○		○			
18	水			○		○	
19	木					○	
20	金	○		○			○
23	月					○	
24	火	○		○			○
25	水			○		○	
26	木	○					
27	金	○		○			
31	火	○		○			

開催場所 麻→麻生公民館 北→北浦公民館 玉→玉造保健センター

—地震後— いつものお子さんと違う様子を心配しているパパ・ママへ

こどもたちは、何が起きているのかわからず、日常生活リズムが大きく崩れることで不安を強く感じています。“不安な気持ち”を上手く表現できず、行動で表します。そして、遊びの中で表現したり、絵に描いたり、話しをすることで整理していきます。そういった遊びや話しを、身近な大人に受け入れてもらえる『怖かった体験は、もう終わったことなのだ』と気持ちが落ち着いてきます。

対応のポイント

【たくさんスキンシップをとるようにしましょう】多くの言葉よりも抱っこ。大きい子でも。

【こんな遊びは止めなくても大丈夫です】高く積み上げた積み木を崩す。新聞をビリビリ破く。「地震だ!」と言って物を揺るなど。こんな遊びは、現実を受け入れようとしているこどもなりの表現です。「怖かったね」と共感してもらえると子どもは安心できます。

【赤ちゃんがえりが見られても大丈夫です】身近な大人に受け止めてもらい、安心感を得ることができるとまた1人で歩いていくようになります。

【テレビや新聞などの触れさせ方に配慮しましょう】地震を伝える報道には、時に刺激の強い映像が含まれます。子どもが1人だけで見ることはないように気をつけましょう。子どもが目にした時は「怖かったね、びっくりしちゃったね」、「これはこういうことなんだよ」と子どもが理解しやすいことばを添えるようになさってください。



保護者の方ご自身も被災者です。怖かったり、悲しかったり、深刻な被災地のことを聞いて、どこか罪悪感を感じたりするのは当然の反応です。お子さんに冷静に向かい合えないことがあっても自分を責めないでくださいね。